

# 月照が 賞末 照らす

げっしろう

## 勤王僧月照と善通寺

2019年11月17日(日) 14:00 - 15:30 (受付は13:30より)

会場：総本山善通寺 遍照閣 2F / 定員：120名

参加費無料

ワークショップご参加登録はこちらから → <http://www.zentsuji-tekutoku.jp>

# てくてくワークショップ “勤王僧月照と善通寺”

善通寺・牛額寺の失われた名作・月照像を探る取材の中から忘れられたドラマが蘇った。激動の幕末に僧侶でありながら尊王攘夷に命を賭けた勤王僧月照。その鮮烈な生き様は多くの志士に衝撃を与えた。特に錦江湾で一緒に入水自殺を凶った西郷隆盛は月照によって運命を大きく変えたと言われる。そんな兄の後を継いで名利清水寺の住職となった弟信海。二人は明治維新の功労者として名を残したが、讃岐出身という事実は長く伏せられた。それはなぜか。牛額寺に残された逸話を交えて情熱の勤王僧月照の足跡をたどる。

## 講師について



コラムニスト  
(四国新聞シニア編集室)

**明石 安哲**  
Yasuaki Akashi

1974年四国新聞入社。論説副委員長を経て、2011年から現職。1993年からコラム「一日一言」を11年間執筆。さぬき市総合計画審議会会長、アーツフェスタたかまつ運営委員長を歴任。現在NPOアーツカウンシル高松理事長。新聞連載「うどん県クロニクル」「探訪かがわの都市伝説」「ハローグッバイ」。著書に「コラム選集一日一言」、「ことでん 100年駅ヒトめぐり」他。

## 善通寺てくてく文化遺産プロジェクトとは

真言宗の開祖・弘法大師空海御誕生の地である香川県善通寺市は、市名の由来となった総本山善通寺をはじめ、四国八十八ヶ所霊場第72番から76番までの五つの札所寺院を擁する巡礼の都です。五岳山の連なる肥沃な地に、清らかな湧水を湛えるここ善通寺市は、かつての門前町としての風情を今に伝え、また古くは岡古墳群などの遺跡を、そして近代では旧陸軍第11師団の建造物や善通寺駅舎等の産業遺産を残します。街をてくてく歩く、それだけで私たちは多彩な価値・時代性を持ったいくつもの文化遺産と出会う事ができます。歴史の歩みから学び、その歩みを止める事なく前進し、文化遺産を次の世代へ伝承していくこと。てくてく文化遺産はこれからの歩みを「てくてく」明るく踏み出すためのプロジェクトです。

## 会場について

### 総本山善通寺 遍照閣 2F

〒765-8506 香川県善通寺市善通寺町 3-3-1  
Tel : 0877-62-0111(代) Fax : 0877-62-4302  
<https://www.zentsuji.com>

**公共交通機関でお越しの方**○岡山方面より JR 岡山駅から瀬戸大橋線を経由し JR 善通寺駅までお越しください(約 60 分)○高松方面より JR 高松駅から予讃線・土讃線で JR 善通寺駅までお越しください(約 60 分)○JR 善通寺駅より徒歩約 20 分/タクシー約 3 分/市民バス(無料)を利用して約 8 分  
※バス停「郷土館前」下車し徒歩 3 分

**お車でお越しの方**○岡山方面より 瀬戸中央自動車道 坂出インターより約 20 分 ○徳島・愛媛方面より 四国横断自動車道 善通寺インターより約 10 分  
※駐車場は総本山善通寺の境内の西側に入り口があります

**飛行機でお越しの方**○高松空港より車で約 50 分※高松から JR 利用の場合は高松空港～JR 高松駅間はバス・タクシー利用で 30～40 分かかります

